

■整備計画

①整備スケジュール

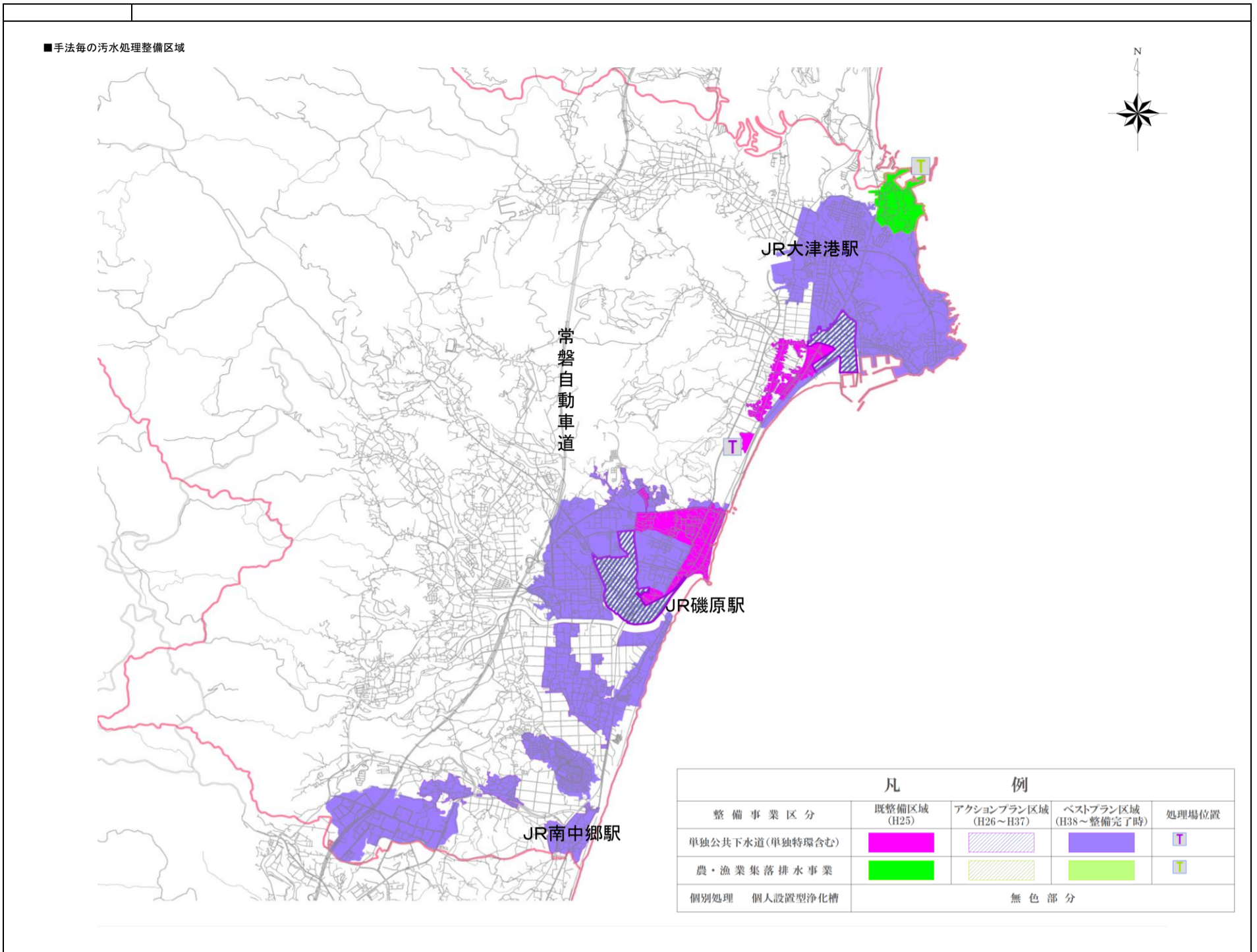
計画区分	事業	事業内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年	平成33年	平成34年	平成35年	平成36年	平成37年
施設整備	下水道	未整備区域の整備												
	浄化槽	転換時の補助の実施(個人設置)												
実行メニュー (早期概成)	共通	戸別訪問等による転換促進												
	下水道	小型マンホール等の採用												
		クイックプロジェクトによる整備手法の検討・導入												

②目標値及び概算事業費等

	全体	公共下水道	集落排水施設	浄化槽		その他	備考 (早期概成手法の内容)
				個人設置型	市町村設置型		
処理人口(人)	29,877	5,160	882	23,835	0	0	生活排水未対策箇所への戸別訪問・広報活動等により、公共下水道・集落排水施設・合併処理浄化槽への転換を促進する。 下水道整備において、構造上の問題及び維持管理を加味したうえで、可能な限り小型マンホール等の低コスト化を行う。 下水道整備において、適宜クイックプロジェクトによる整備手法の検討・導入を行う。
整備手法	整備人口(人)※1	6,952	2,045	0	4,907	0	
	整備面積(集合処理分)(ha)※1	148.7	148.7	0.0			
目標値	汚水処理人口普及率(%)	76.7%	13.3%	2.3%	61.2%	0.0%	
	整備率(%)		17.6%	100.0%			
計画水量(m ³ /日)	1,476	1,238	238		0	0	
計画汚泥量(m ³ /日)※2	0.56	0.46	0.10		0.00	0.00	
概算事業費	建設事業費(百万円)※1	1,862	1,862	0		0	
	年間維持管理費(百万円/年)	109	83	26		0	
整備人口1人当たりの建設費用(千円/人)※1		910	0		0	0	
実施メニュー	戸別訪問等による転換促進		○	○	○		
	小型マンホール等の採用		○				
	クイックプロジェクトによる整備手法の検討・導入		○				

※1 アクションプラン(H26~H37)期間の数値を示す。

※2 公共下水道は汚泥含水率75%換算値。集落排水施設は汚泥含水率未換算値。



■整備計画

①課題の整理

課題1	既整備区域の水洗化促進
課題2	未整備区域の早期整備
課題3	施設の老朽化及び維持管理・更新費の増加

②スケジュール

計画区分	事業	事業内容	5	10	15	20	25
			平成42	平成47	平成52	平成57	平成62
実行メニュー (運営管理)	共通	戸別訪問等による転換促進					
	下水道	クイックプロジェクト等による効率的整備手法の検討・導入					
	下水道 漁集排	老朽管の改築推進					
		PFI事業等による効率的維持管理運営の検討・導入					

③目標、概算事業費等

整備手法		全体	公共下水道	集落排水施設	浄化槽		その他
					個人設置型	市町村設置型	
整備手法	処理人口(人)	35,710	21,074	809	13,827	0	0
	処理面積(集合処理分)(ha)	1,838.0	1,780.0	58.0			
ベンチマーク(指標)	汚水処理人口普及率(%)	100.0%	59.0%	2.3%	38.7%	0.0%	0.0%
概算事業費※	建設事業費(百万円)	12,183	12,183	0		0	0
	年間維持管理費(百万円/年)	363	339	24		0	0
実施メニュー	戸別訪問等による転換促進		○	○	○		
	クイックプロジェクト等による効率的整備手法の検討・導入		○				
	老朽管の改築推進		○	○			
	PFI事業等による効率的維持管理運営の検討・導入		○	○			

※アクションプラン(H37)以降の残建設事業費を示す。